

clip

2023

卒業制作特別号





Clip CONTENTS

イマドキ男女の
美術館へのホンネ調査

美術館を楽しむために
知っておきたい7つのこと

ミュージアムショップは
楽しい。

ポストカードの世界

かわいいの世界

みんなの推し美術館

PICK UP ART

THE TOWER HOTEL

「国際芸術祭 あいち 2022」
フリーパス買って全部巡ってみた。

愛知芸術文化センター

一宮市

常滑市

有松地区

編集後記



みんなの美術館に行く理由



人に誘われたから。

友達と一緒に行こうと誘われ、小学校の遠足以来の美術館を訪れました！創造以上に満喫すぎて、2時間ほど滞在していました（笑）



ミュージアムショップが好きだから。

ミュージアムショップにあるポストカードが好きでよく美術館を訪れます。買いすぎて度々散財しています（笑）



チケットをもらったから。

職場でチケットをもらい、美術館へ行きました。最初はさほど興味はなかったのですが、普段の生活では目にすることのない物を見てとても刺激をもらいました。



好きな作家の作品があるから。

草間弥生さんの作品の世界観が好きで、お気に入りの作品を見るために東京まで足を運びました。大好きな作品を近くで見れてとても思い出に残りました。



友達が行っていて楽しそうだったから。

友人が行っていた展覧会がとても楽しそうで、私も行っちゃいました！体験できる作品もあったとても楽しかったです。



SNS の投稿を見て。

友人の Instagram の投稿を見て美術館に訪れました。写真を撮ることもできたので、思い出残すことができました！



色々な展示が見れて面白いから。

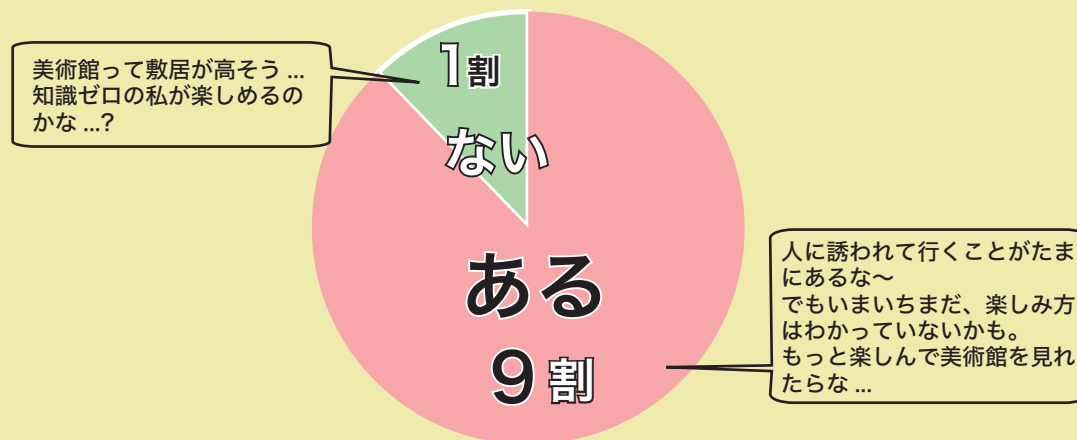
回顧展などは、アーティストの作品を丸々と覧れるので、面白くていくら時間があっても足りないくらいでした！



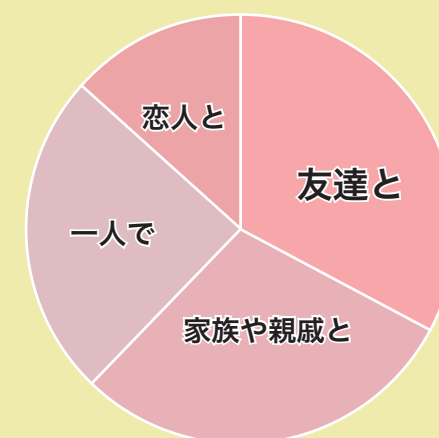
写真映えるから。

金沢 21 世紀美術館にある作品がインスタ映えてとても思い、旅行の際に訪れました。その時撮った写真は気に入りで SNS のアイコンにしています。

Q. 今までにプライベートで美術館や展覧会に訪れたことはあるか？



Q. 誰と行ったか？



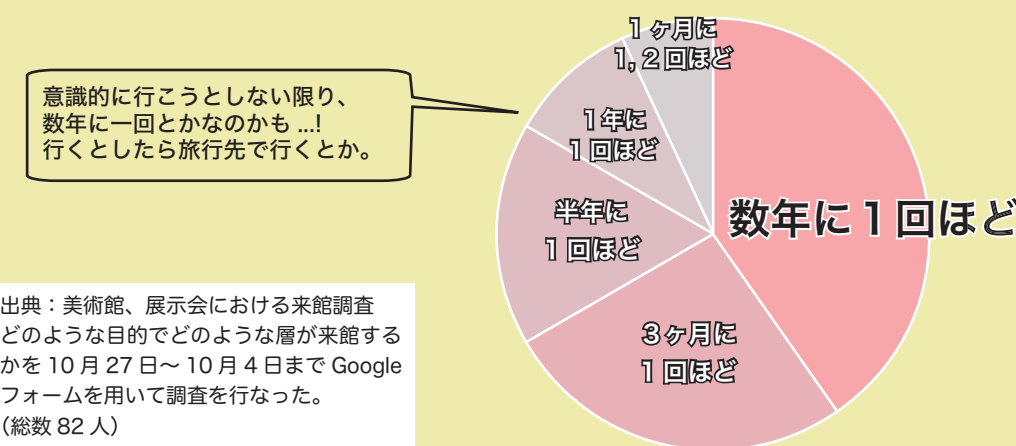
旅行などもかねて友達と美術館を訪れることが多いです。最近は写真撮影可能なところも多いので、撮った写真は SNS に投稿して楽しんだりもしています。(20 代 女性)

幼い頃に両親に夏休みに美術館に連れて行ってもらったことが良い思い出です。ミュージアムショップで買ってもらったポストカードは今でも大切にしています。(10 代 女性)

一人でよく美術館を訪れます。時間を気にせずじっくりと作品を鑑賞できるのが良いですね。(20 代 男性)

彼女に誘われて美術館を訪れました。美術にはそれほど興味はなかったのですが、同じ作品を見てもそれぞれで感じるものが違って面白かったです！(20 代 男性)

Q. 美術館や展示会にどのくらいの頻度行くか？



出典：美術館、展示会における来館調査
どのような目的でどのような層が来館するかを 10 月 27 日～10 月 4 日まで Google フォームを用いて調査を行なった。
(総数 82 人)



イマドキ男女の美術館へのホンネ大調査。

06

SNS に投稿してみる

来館者の裾野を広げる、アートの一部の愛好家だけのものにしない、美術展に行くことを非日常から日常へ。ここ数年は来場者の SNS での拡散を意識した「一部撮影 OK」な美術展が増えてきています。

最近では #美術館巡りや #美術館レポといったハッシュタグを使用して作品を鑑賞して感じたことや考えたことを書き留めて投稿してみると、同じ展示を見に行った人や美術館好きの人と繋がることができて面白いかもしれません。

最近では美術館側が SNS での作品の投稿を推奨している場合も少なくはありません。このような掲示を見つけたら、ぜひ写真を撮って SNS に投稿してみましよう。



07

ミュージアムショップ

美術館巡りのもう一つ楽しみでもあるのが、「ミュージアムショップ」です。

美術館は美術に興味がある人は気軽に出かけられても、そうでない私には敷居が高いんじゃないか？と思われる方もいるかもしれません。そんな方にこそ、ミュージアムショップを楽しんでほしいです。



芸作品のポストカードや変わったデザインのグッ雑貨、実際に作家さんの作品を買うことができるお店もあります。見ているだけでもワクワクするお店です！

04

作者や作品について 予習する

特定の作者の個展などに行く場合は作者について予習していると作品に対しての理解がより深まり、より楽しむことができます。

作者がどうしてこのような作風になったのかや、作者のバックグラウンドと重ねながらその時代時代の作品を見てみると新しい発見があるかもしれません。私はインターネットで事前に予習してから作品を見に行くことが多いです。

美術手帖

◀美術手帖（Web サイト）
雑誌『美術手帖』が運営するアートのポータルサイト。様々な美術家の情報や批評家やキュレーターによるレビュー、連載など幅広いコンテンツを閲覧することができます。



美術館を楽しむために 知っておきたい7つのこと

01 ビジュアルで美術館や 展覧会を探す

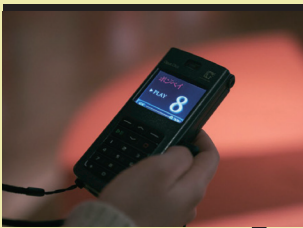
ネットで検索して、美術館に行く方が多いと思いますが、小さい展覧会まで含めて、自分の趣味に合うものに検索でたどり着くのは意外と大変なもの。検索結果には過去の展覧会も表示されますからね・・・そんな方におすすめしたいのが、ポスターなどの「ビジュアルで美術館や展覧会を探す」というものです。今ではネットやアプリでも簡単に展覧会のチラシを見ることがので、とても便利です。ぜひ、その中でもピンときたチラシの展覧会に訪れてみてください！



▲スマホアプリ「チラシ・ミュージアム」展覧会のチラシを見られるアプリです。My チラシに地域を設定しておけば、自分の行動圏内の展覧会だけが表示されます。

02 音声ガイド

音声ガイドは通常 500 円ほどで借りることができます。また美術館によっては音声ガイドを著名な芸能人やアイドルが担当しているものもあるので、とても面白いです。



03

「作品を正しく理解しなきゃ」 という気持ちを捨てる

展覧会でよく分からない作品に出会った時、楽しい気持ちは薄れて、解説を必死に読み込みたくなるもの。ですが、「作品を 100%理解することは、とても困難なこと」だと認識して、ちょっと肩の力を抜いてみて。

「何を表現している作品なのか」という“正解”を求めるよりも、「この作家は、どんな意図でこの作品をつくらうとしたのかな」をなんとなく考えるほうが楽しかったりします。



美術館をもっと楽しむための 美術鑑賞で 気をつける5つのこと

1 作品に触れない。

作品保護のため、展示物に触れてはいけません。

たとえ見た目には変化のない程度のかるい接触でも、皮脂が付着することで、将来的に変色などの可能性があります。

カバンの角や洋服の裾、パンフレットが触れると作品表面を傷つけるので、危険に感じた場合は監視員から声をかけられることも。また、額や壁面も触らないようにしましょう。

また展示物保護のためにも鑑賞前に荷物をロッカーを預けて（美術館は無料でロッカーを借りることができます。）できるだけ荷物は少なくして作品を鑑賞しましょう。



▲美術館ならではのデザインにこだわったコインロッカーも！

2 大声で話さない。

「作品を見に来てるんだから喋りたい人は帰ってよー！」そんなことを思ってしまうこともしばしば。

でも、「喋る」こと自体は禁止事項じゃないんです。むしろ作品の感想を言い合ったり、意見を共有したりするのは作品を鑑賞する上でとても重要なことです。

声のボリュームを少し下げて喋りましょう。携帯をマナーモードにすることも忘れなく！

映画を見に行く時と同じ感覚で、展示室を出てから外のカフェで感想を話し合うのがおすすめの鑑賞方法です。



▲みなさんルールを守って鑑賞しています。ジェフ・クーンズの作品かわかったな...

3 作品を勝手に撮影しない。

作品の著作権保護や、フラッシュ撮影による作品劣化を防ぐため、作品の写真撮影は禁止としている美術館がほとんどです。

展示会場の途中や出口などに撮影可能な場所が設けられているところは遠慮なく撮って大丈夫！

「写真撮影可」の表示があるものはぜひ見逃さないようにしてくださいね。ただし、混んできたり流れが止まってしまったり長い撮影は他の人の迷惑になりますので、スムーズに撮影するようにしましょう。



▲くまのプーさん展は展示室内は写真撮影が禁止でしたが出口付近に素敵なフォトブースがありました。

4 混雑時は避ける。

有意義な美術の楽しみ方として、混雑時は避けましょう。

美術はゆっくりしっとりと楽しむもの。ぎゅうぎゅうの館内や人混みの中では、なかなか落ち着いて鑑賞できません。

混雑が予想されるのは、イベントや企画展の開幕当日とその週末テレビやメディアでおすすめされた翌日やその週などです。

開館直後や閉館前、お天気の悪い日などは比較的空いていることが多いので、狙い目かもしれません。

混雑具合をその都度SNSで発信している美術館もあるので、合わせてチェックしてみてください。



▲学生の特権でもあります、平日の美術館は貸切状態！ゆっくり作品を堪能できます。

5 興味のない作品は無理に鑑賞しない。

「せっかく来たのだから一つ一つじっくり鑑賞しなければ。」

実はこのような鑑賞の仕方は、美術館を楽しく巡る方法ではありません。

興味のないものをじっくり鑑賞するほど、退屈なことはありません。無理に頑張って鑑賞することで、「全く興味がわかない」「何が面白いのかわからない。」と、返って美術鑑賞が嫌いになることもあると思います。

最初の頃は、堅苦しく感じた作品は飛ばすことがポイント。

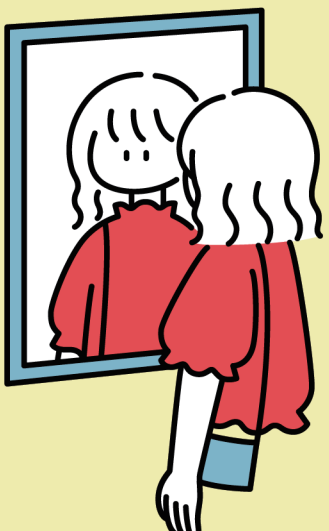
休憩をこまめにはさみ、興味の湧いた絵画やアートを中心に鑑賞していくことで、一作品ごとをよりじっくり堪能することができま



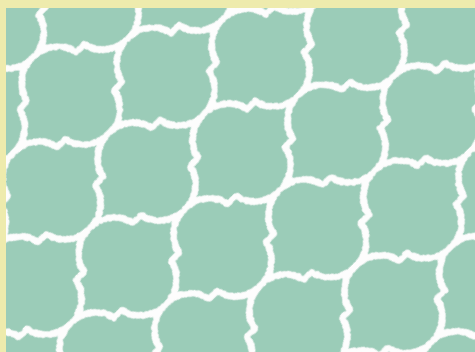
▶美術館にはベンチや椅子もあるので疲れたら休憩しましょう。



これを知ったら、かしこく美術鑑賞できそうだね。

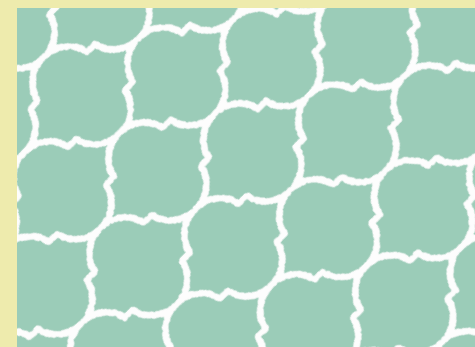


おしゃれして行こうかな。



ミュージアムショップは 楽しい。

美術館のミュージアムショップには、芸術に触れられる素敵なグッズがたくさん。
個性派なものから日常使いしやすくお家があっという間に小さな美術館になるもの
まで様々な商品があります。
今回はそんなミュージアムショップで私が思わず購入してしまった物の数々をご紹介します。





ミュージアムショップは楽しい

「ポストカードの世界」

美術館に立ち寄る楽しみの一つである「ミュージアムショップ」。今回はつつい買いすぎちゃった私のポストカードをご紹介します。

POST CARD

POST CARD



04



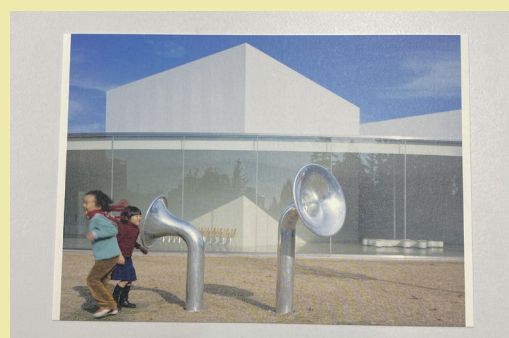
05



02



01



06



03

03

バルーンのような彫刻作品で有名なジェフ・クーンズの「ラビット」のポストカード。史上最高額の100億円で落札されたことでも有名なこちらの彫刻。高額芸術作品も手軽に楽しめるのもポストカードの魅力です。

02

ミニチュアアーティストの田中達也さんの「甘島」のポストカード。プリンを南の島に見立てるといっても可愛い作品です。キャンパス地のようなポストカードの素材もお気に入りです。

01

フェルナンド・ボテロの「オレンジ」のポストカード。ボリューム感あふれるオレンジはもちろん、オレンジをカットするナイフでさえもふくよかで丸みを帯びていて面白いなと思って購入しました。

06

金沢21世紀美術館の芝生内にあるフローリアン・クラールの「アリーナのためのクランクフェルト・ナンバー3」のポストカード。開かれた公園のような美術館を思わせるようなポストカードで素敵だなと思い購入しました

05

現代芸術家、森村泰昌さんの「フェルメール研究（3人の位置）」のポストカード。森村さんの作品制作の一部始終を覗けるような素敵なポストカードで、京都京セラ美術館の展覧会に訪れた際、記念に購入しました。

04

Chim ↑ Pomの「ヒロシマの空をピカッとさせる」のポストカード。広島風景に漫画のひとコマのような擬態語を描き、ゆっくりと消えていく様子に記憶の風化を重ねることで、戦後日本の平和に対する現代的な歴史観を映し出した作品。

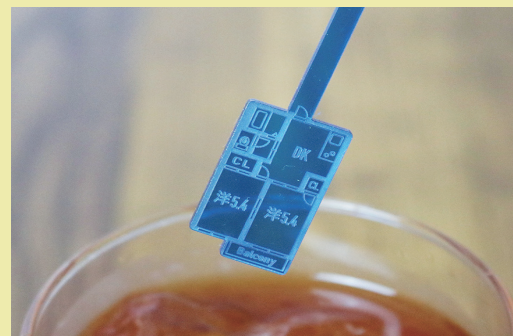


ミュージアムショップは楽しい

「かわいいの世界」

美術館に立ち寄る楽しみの一つである「ミュージアムショップ」。今回はつつい買いすぎちゃった私のかわいいと思った雑貨を紹介します。

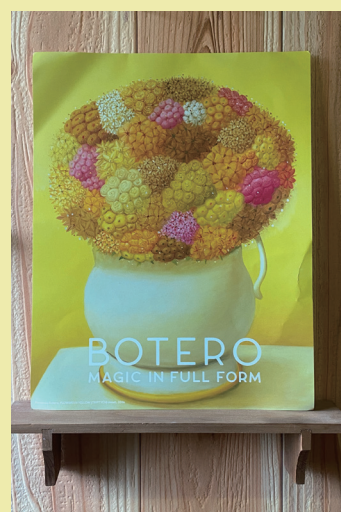
KAWAII!!



04



05



06

06

フェルナンド・ボテロの「黄色の花」のミニポスター。この作品は「黄色の花」、「青の花」、「赤の花」があるのでどれにするかとても迷いました。色彩豊かに描かれた花瓶いっぱいのお花がとても素敵です！

05

奈良美智さんの Blitz Krieg ステッカー。パンクロック大好きな奈良美智さんが、「こんなステッカーがあったらいいなあ」と自ら描き下ろしてデザインしたステッカーです。「BlitzKrieg Bop」はパンクバンド「ラモーンズ」の代表曲のタイトルです。

04

間取り図で混ぜるマドラー「間取ラー」。こちらの間取ラーは2LDK のものです。建築学生の友人や、もうすぐ引っ越しする友人へのプレゼントにも良いかもしれません。

KAWAII!!



02



01



03

02

ヨハネス・フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」のランチキュラー葉。ミュージアムショップで販売されていることが多い葉ですが、ランチキュラーのものは珍しかったので購入。本に挟むたびにワクワクする葉です。

01

フィンセント・ファン・ゴッホの「サント＝マリー＝ド＝ラ＝メールの海景」のミニフレーム。一目惚れしてゴッホ展で購入。油絵独特の凹凸や絵の具の艶感までも再現されています。お部屋があつという間に小さな美術館に！

03

森美術館のミュージアムショップで購入した NEWSED 製のワゴン アンド オンリー・キーチェーン。アクリル端材を使用したタグプレートと自由に組み合わせてキーチェーンとして使用することができます。



森村さんが自作の小説を朗読した無人朗読劇《影の顔の声》を鑑賞。お香の香りが漂う暗い空間で鑑賞し、まるで物語の世界に入り込んで、そのまま帰って来れなくなってしまうような感覚になりました。とても素敵な体験でした。



▲美術館のハブとなる「中央ホール」。天井から柔らかく繋がる美しい螺旋階段が躍動感を演出しながら、心地よく空間を印象付ける。

本が大好き / S・E

高専1年生

名画の登場人物や歴史上の人物、女優など時代や性別、国籍を問わず、「何者か」に扮した「自画像的作品」を一貫して制作し続けてきた森村さん。問いを持ちながら自分と向き合うことができた良き時間でした。

森村泰昌： ワタシの迷宮劇場

(2022.3.12-6.5)

現代美術におけるセルフポートレートの先駆者の一人が 秘蔵インスタント写真 800 枚以上を含む作品から 35 年超のキャリアを総括する大規模個展。



京都市京セラ美術館

京都府京都市左京区岡崎円勝寺町124

京都市美術館を前身として2020年にリニューアル・オープン。建築家の青木淳と西澤徹夫が改修を手がけ、日本で現存する公立美術館のなかでもっとも歴史ある建築の意匠を生かしながら、より開かれた美術館として生まれ変わった。

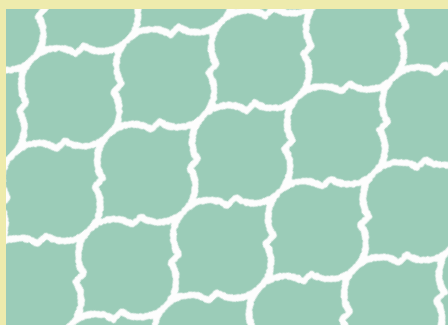


物の見え方が変わる。

五感を使って使って視る。



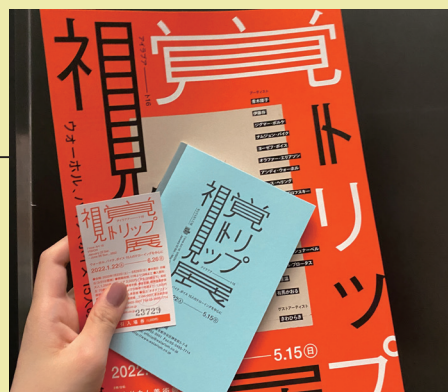
▲ナムジュン・パイク「ニュー・キャンドル」
1本のろうソクの灯りをプロジェクターに映し出している作品。真っ黒の部屋に浮かんだ小さな灯たちが宙を舞うように輝いていて、とても美しかったです。



視覚トリップ展

(2022.1.22-6.26)

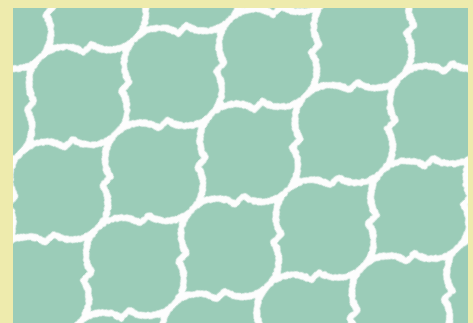
アーティストたちの作品を通し、視覚体験を楽しんでもらおうと、ワタリウム美術館のコレクション作品から、14人のドローイングやペインティング作品計160点を公開。



編集長 / 柴田 真衣

大学4年生

ワタリウム美術館が最近の一番のお気に入りです。一見すると変わった形のビルですがエレベーターを登ると様々な現代アーティストの作品が立ち並ぶ美術館というギャップが大好きです。私が訪れた「視覚トリップ展」ではポップアートの旗手と呼ばれるアンディー・ウォーホルの作品やメディアアートの第一人者であるナムジュン・パイクの作品を見ることができました。



ワタリウム美術館

東京都渋谷区神宮前3-7-6

表参道と原宿エリアから徒歩数分の場所にある「ワタリウム美術館」は、現代美術、写真、彫刻やデザイン等の発信基地です。定期的に様々な個展が開催されています。



みんなの推し美術館



旅先で行った美術館といったら、また特別ですよね！
もう一度行きたいと思う美術館や展覧会を伺いました。



魂ごと揺さぶられた。

余韻がすごい！

埼玉の学生 / Y・M さん

大学 4 年生

私が最も尊敬するアーティストでもある「Chim ↑ Pom」。

彼らは政治活動や社会活動でもなく、現代アートという手段で世界情勢や社会問題、風化しつつある戦争に独創的な考えと行動力で作品を作り続けてきたという点が彼らのカッコいい点だと思います。

大規模な回顧展ということもあり作品数は多く、どれも興味深いものばかり。気づいたら3時間近く経っていました。

理性をしっかり持っていないと自分の軸を見失いそうな作品ばかりで、魂ごと揺さぶられました。そして、自分がいかに社会に対して無関心で他人事なのかを思い知らされました。



Chim ↑ Pom 展：
ハッピースプリング
(2022.2.18-5.29)

社会問題、社会情勢に立ち向かい、意表を突くプロジェクトを手がけるアーティスト・コレクティブ、Chim ↑ Pom の活動の17年を振り返る大規模な回顧展。



森美術館

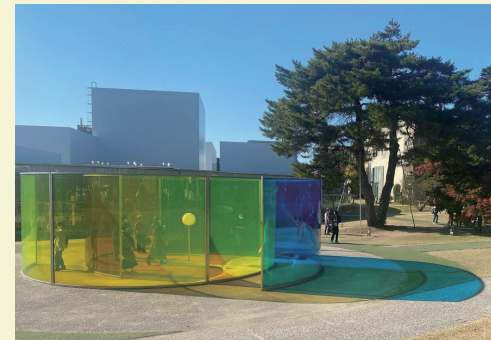
東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー

現代美術を中心に、絵画や彫刻、建築、ファッションなど様々な企画展示を行なっています。特に日本とアジアの美術に目を向け、若いアーティストに活躍の場を与えることを重要な役割を果たしています。



◀オラファー・エリアソン
「太陽の中心への探査」
エリアソンが2017年に太陽の存在を抽象化して表現したという作品。

た多面体がなす光が壁や床にも写ってとても綺麗で癒されました。



金沢 21 世紀美術館

石川県金沢市広坂 1-2-1

金沢 21 世紀美術館は「まちに開かれた公園のような美術館」をコンセプトに金沢市の中心部に位置し、誰もがいつでも立ち寄ることができ、様々な出会いや体験が可能となる公園のような美術館です。

乃木坂好き / I・Y さん

建築学生



開かれた

公園のような美術館。

この美術館は建築がとても素晴らしいと思います。

外壁や建物内の壁面の多くにガラスを使用したことにより、内部と外部など互いに異なる空間にいる者同士が互いの様子や気配を感じ取ることができる、出会いの感覚も演出されています。

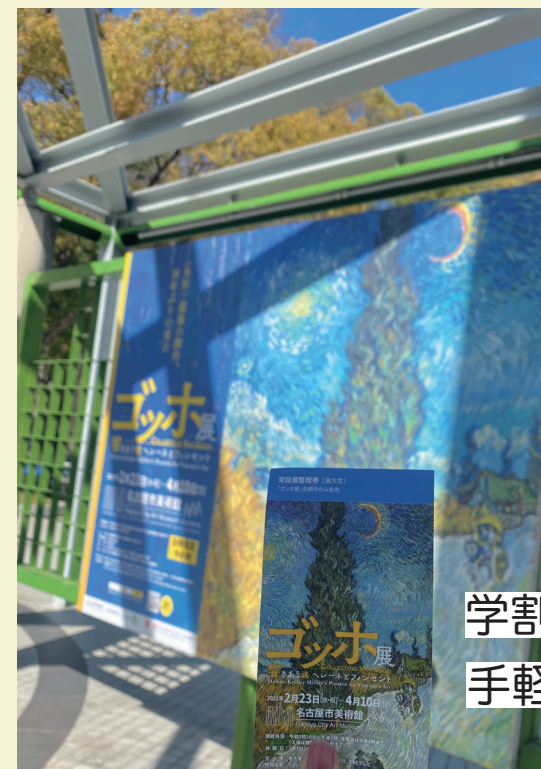
展示室に道！？

育てる展示



この展覧会で驚くべきことは、示室を上下二層構造にし、上層をアスファルトで舗装した「道」があるという点。

「道」は、既存の仕組みやルールから独立した空間を作り出し、そこに集う人々の自由意志と自発的なアクションが生む都市の新たな可能性を見いだそうとしました。会期中に行われるイベントやハプニングのプロジェクトスペースとして機能し、鑑賞者と一緒に自由で開かれたものに育てています。



美術館が好き / I・N さん

大学 4 年生

大学1年次と大学4年次がメンバーシップ大学で展示を無料で見ることができたので。展示が変わるたびに訪れています。美術館というとチケットが千円ぐらいするイメージがありますが、名古屋の大学に通っていると無料で行ける期間もあるので、ぜひいってみてください！

学割を使えば

手軽にアートが楽しめる！

名古屋市美術館

愛知県名古屋市中区栄2丁目17-25
芸術と科学の杜・白川公園内

名古屋市の中心部にある、緑豊かな白川公園の一角に立地している美術館。建築は黒川紀章。エコール・ド・パリ、メキシコルネサンス、現代の美術、そして郷土の美術という4つの柱を軸に、作品を収集している。



PICK UP ART



01 Kaikai Kiki Gallery

東京・元麻布にある、現代美術家、村上隆がオーナーを務めるギャラリー。
日本で初めて個展を開催する作家も多く、最先端の現代アートに触れられるギャラリーとして、絵画、彫刻、映像、インスタレーション、陶芸まで、さまざまな作品が鑑賞できます。
事前予約も不要でふらっと立ち寄れます。



02 金沢 21 世紀美術館

「まちに開かれた公園のような美術館」をコンセプトに金沢市の中心部に位置し、誰もがいつでも立ち寄ることができ、様々な出会いや体験が可能となる公園のような美術館です。屋外の現代美術作品は入館料なしで観覧することができます。



03 MAKI Gallery

素敵な空間に引き込まれる天王洲「MAKI」。
「アートを鑑賞する」だけではなく、「アートをコレクションする」ことに焦点を当てた、ギャラリーオーナーの牧夫妻が長年に渡ってコレクションしてきた作品が公開されています。



04 草間彌生「三つの帽子」

あいれふ（福岡市健康づくりサポートセンター）では「世界の KUSAMA」こと、草間彌生さんの作品です。福岡市美術館の屋外に設置されている水玉の黄色い《南瓜》が有名ですが、実は舞鶴にある「あいれふ」でも草間さんの作品が見られるんです。しかも、3 体も！

 PICK UP ART

アートって敷居が高い？
いいえ、無料で楽しめるアートもあります。





01 フロントカウンター

愛知県出身のアーティスト・杉戸洋さんが手掛けたモザイク画。テレビ塔が建てられて 1950 年代には、名古屋市内で多くのモザイク壁画がつくられていた背景から、今回の作品にもモザイク画を採用。テレビ塔から見た今の風景と、今はもう無くなってしまった風景を合わせて描いた作品です。



02 客室

愛知県出身のアーティスト、鷺尾友公の作品がゲストを迎える客室。ここでは、1 日の数分間だけ奇跡が起きる時間を作品に込めて描かれています。



03 喫煙室

喫煙者でなくてもぜひ立ち寄って欲しい場所。喫煙室が 360 度、奈良美智さんのイラストで包まれています。

04 ロビー

ロビーの柱もよくみると剥き出しの状態に。開業当時の柱をあえてそのまま見せることで、長きに渡るテレビ塔の歴史を感じます。ロビーにはテレビ塔をモチーフにしたオブジェや、地元のアーティストの作品が多く飾られています。

05 階段

ジムに向かう階段にはビデオ・アートの巨匠と呼ばれるナム・ジュン・パイクの作品を見ることができます。



 THE TOWER HOTEL

アートに囲まれる非日常空間。

THE TOWER HOTEL

1954 NAGOYA 2020

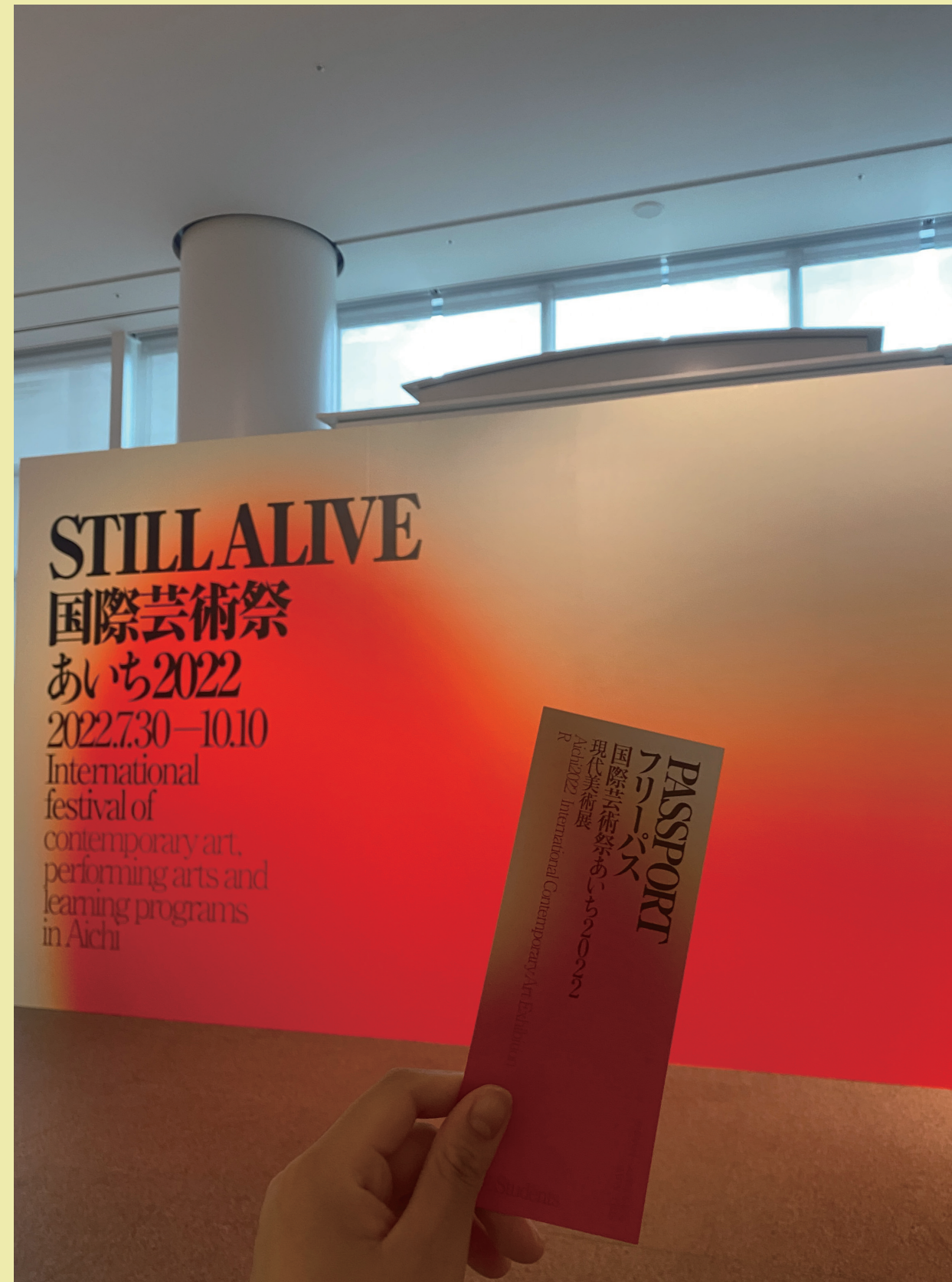
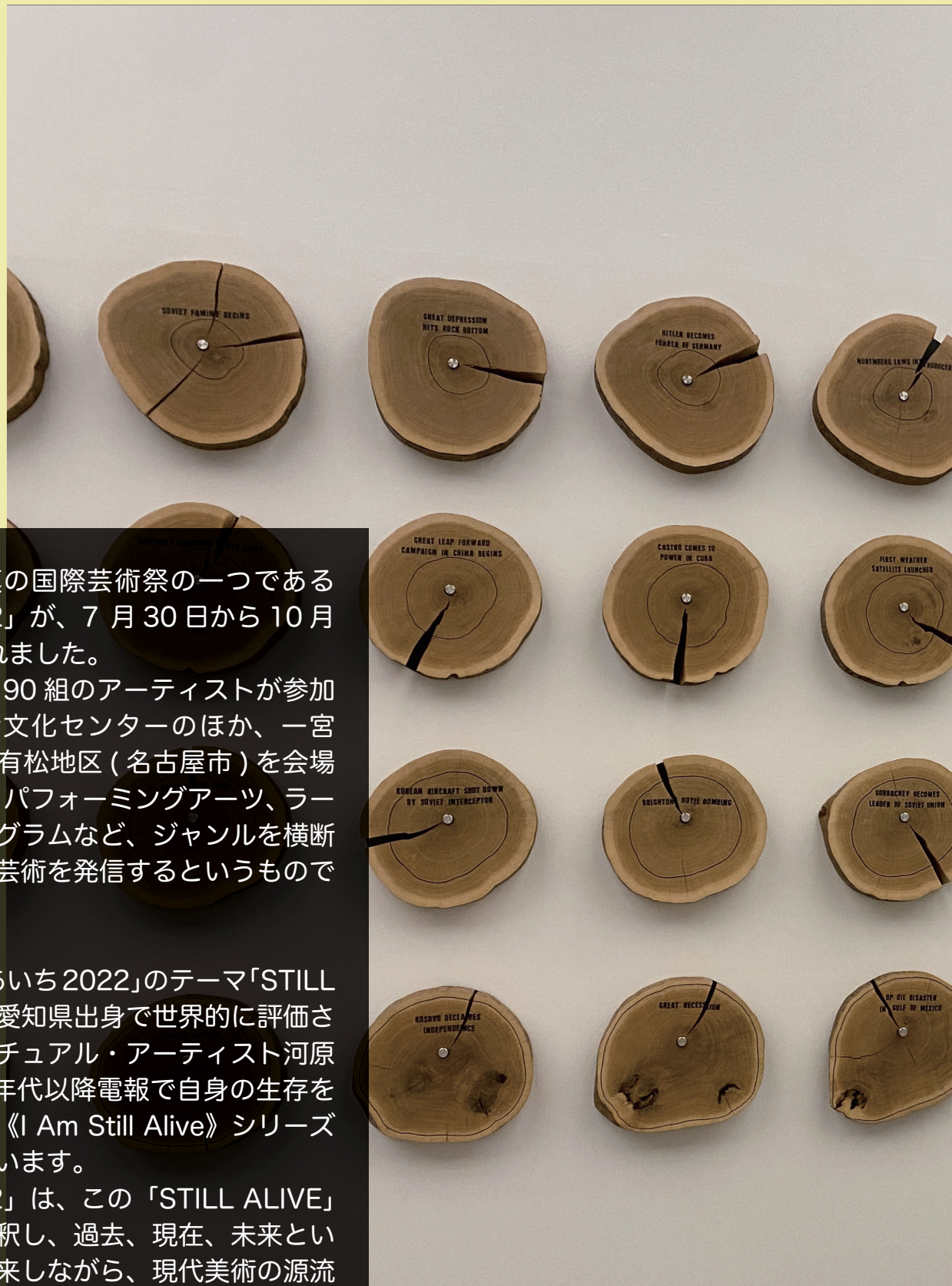
1954 年の完成以来、半世紀以上、名古屋街のシンボルとして愛されてきた名古屋テレビ塔。ここを中心に街が栄え、人々が集い、名古屋の「起源」ともいえる場所。そして 2020 年、名古屋テレビ塔は THE TOWER HOTEL NAGOYA(ザタワーホテル ナゴヤ) に生まれ変わりました。地域の伝統や文化、アート&クラフト、レジョナルキュイジーヌを発信する、名古屋の新しい起点「ローカルメディアタワー」へと生まれ変わりました。

国際芸術祭 あいち 2022

「国際芸術祭 あいち 2022」フリーパス買って全部巡ってみた。

国内最大規模の国際芸術祭の一つである「あいち 2022」が、7月30日から10月10日に行われました。国内外から約90組のアーティストが参加し、愛知芸術文化センターのほか、一宮市、常滑市、有松地区（名古屋市）を会場に、現代美術、パフォーミングアーツ、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断した最先端の芸術を発信するというものです。

国際芸術祭「あいち 2022」のテーマ「STILL ALIVE」は、愛知県出身で世界的に評価されるコンセプチュアル・アーティスト河原温が、1970年代以降電報で自身の生存を発信し続けた《I Am Still Alive》シリーズに着想を得ています。「あいち 2022」は、この「STILL ALIVE」を多角的に解釈し、過去、現在、未来という時間軸を往来しながら、現代美術の源流を再訪すると同時に、明日を生きるためのポジティブなエネルギーに繋がる、心躍る出会いや体験の場を提供しています。今回の特集では私が特に心に残った作品をご紹介します。

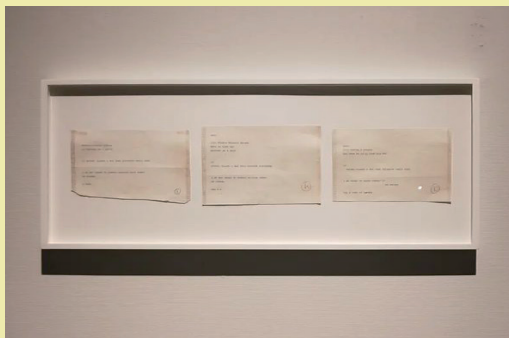


STILL ALIVE

STILL ALIVE



04



05



02



01



06



03

05

ミルク倉庫+ココナッツ
「魂の錬成」

新型コロナウイルスのパンデミック以降、呼吸について従来以上に意識が高まりました。会場となる愛知芸術文化センターの建物自体を呼吸器官として見立てた作品です。作品は実際に回遊することが可能で、鑑賞者は赤血球となって作品の中を進んでいくというユニークな作品です。

05

河原 温
「I Am Still Alive」

30 年間にもわたって、世界各地の知人、キュレーターなどに「私はまだ生きている」という電報を送り続けた河原氏。送りつづけた電報は彼の生きた証となりました。時間や空間を超えて、生存の根源的な意味を考えさせる最もシンプルかつ深遠な作品です。

04

渡辺篤
(アイムヒア プロジェクト)
「同じ月を見た日」

この作品を構成する月の写真は、2020 年 4 月に発令された緊急事態宣言の直後「孤立感を感じていること」という条件で集まった匿名の人々が、渡辺氏から送付されたスマホ用の小型望遠鏡を使って撮影したものです。自らの孤独と他者の孤立に思いを馳せ、その存在を想像することで、孤独をベースとした柔らかな連帯を生み出します。

03

カズ・オオシロ
「マーシャルヘッドとオレンジスピーカーキャビネット」

このアンプは一見ただのアンプに見えますが、実は全てキャンバスに描かれた精巧な騙し絵です。この作者である「カズ・オオシロ」は、「絵画」と「芸術」の本質を探るためにこのような表現をしたそうです。

02

ローマン・オンダック
「イベント・ホライズン」

1 本のオークの木の幹を 100 枚に切断し、その年輪に応じた 1917 年から 2016 年までの歴史的な出来事を刻印した作品です。展示期間中、床面に設置されていた 各ピースは毎日 1 枚ずつ、壁に打ち付けられた金具に掛けられていき、会期最終日には、すべての木製ディスクが壁面に移動します。

01

リタ・ポンセ・デ・レオン
「魂は夢を見ている 生きる価値とは何かについての詩人ヤスキン・メルチーと新納新之助と友人たちの言葉」

メルチーと日本の詩人である新納新之助の二人が選定した言葉が鍵盤に刻まれています。言葉の順番を入れ替えることで異なる意味や状況が生まれ、詩と音楽が共鳴する体験型のアートです。

ーあいち国際芸術祭おすすめ展示ー「愛知芸術文化センター」

STILL ALIVE

STILL ALIVE



02



01



03

03

グレンタ・レオン
「月に耳をかたむけるとき」

しだいに満ちていく月をタンバリンを並べて表現した作品。こちらは自由に触れて思い思いの音色を奏でることができます。作品であり楽器であるという作品です。

02

ティエリー・ウッス
「インポッシブル・イズ・ナッシング」

いまなお貧困削減、SDGsといった国際的な論議でも盛んに取り上げられる「綿」。綿花は何百万人もの小規模農家によって生産され、人々がこれに依存しているにもかかわらず、金や石油とは流通時の価値が明らかに異なる事実を旗を立て、手作業でこの仕事に従事する労働者への着目を促す作品です。綿花で表現された金塊が印象的でした。

01

シアスター・ゲイツ
「リスニング・ハウス」

常滑で陶芸を学んだ経験を持つシアスター・ゲイツは、旧丸利陶管の住宅を音楽、ウェルネス、陶芸研究のためのプラットフォーム「ザ・リスニング・ハウス」を作成しました。一階のDJブースではさまざまな人が集い、楽しさや気分を共有する空間を、2階では鎮静と瞑想のための青い光が出迎えてくれます。



02



01



03

03

遠藤薫
「羊と眠る」

羊と毛織物の文化・歴史から着想を得た、時空間的なスケールの広がりがある展示。遠藤氏は羊の宗教的・文化的な象徴性や、産業革命や近代化に欠かせない繊維業の歴史をリサーチし、自ら羊を解体し、皮をなめし、羊毛を織って落下傘を織り上げました。2階のホールにはこの落下傘が吊られていて、その空間は教会のような聖性や儀式的な雰囲気満ちていて圧倒されました。

02

塩田千春
「標本室」

かつて看護学校として使われていた建物の解剖学標本室だったこの部屋には、ガラスケースに残された標本とともに、ガラスや糸、針金を使った塩田千春の作品が展示されています。2017年、再発した卵巣癌のために抗がん剤治療を受け、死に直面した極限状態の感情やエネルギーから、多くの作品が生まれましたが、これら「Cell（細胞）」シリーズもそのひとつです。

01

奈良美智
「Fountain of Life」

頭部が重なり合った子供たちの眼から泉のように涙が溢れ出しています。留まることのない静かな涙。それは疫病や戦争に限らず、悲しみの絶えない今日の世界で、愛と平和を願う涙のようでもあります。

― あいち国際芸術祭おすすめ展示 ―

「常滑市」

― あいち国際芸術祭おすすめ展示 ―

「二宮市」

STILL ALIVE



01

01

イワニ・スケース
「オーフォード・ネス」

鳴子・有松絞りの工房に1,000個のガラス玉を展示したアートです。涼しげなブルーと、雫のような形が魅力的でとても儚げでした。見る角度によって印象が変わるので、じっくりゆっくりみていたくなる作品でした。



02

02

ミット・ジャイイン
「ピープルズ・ウォール」

タイの少数民族出身、ミット・ジャイインのこの作品があちこちの家屋の軒先を彩っています。人々の暮らしに絵画を共存させるとともに、権威主義や君主制に抗う市井の人々のちからを象徴するメッセージも込められています。

03

AKI INOMATA
「彼女に布をわたしてみる」

有松で発展してきた絞り染めの技術と、ミノガ（箕蛾）の幼虫、ミノムシが巣をつくる技術の混淆を、久野染工場の協力を得て実現した作品です。有松・鳴海絞りで蓑をつくったミノムシはドレスを着ているようでとても可愛かったです。

編集後記

今回の雑誌を制作するにあたり、関わってくださった皆様に心から感謝しています。

実は、卒業制作のテーマを九月に変更したことにより、とても不安な気持ちでいっぱいでした。

行き詰まった時に、大好きな美術館を訪れたことで気持ちがとても楽になりました。このことがきっかけで、卒業制作は、美術館の楽しさを多くの人に伝えるものになりたい。と思い、美術館巡りやアートの楽しさを伝える雑誌を制作することになりました。

「美術館」や「アート」と聞くと、どこかつつきづら

く、難しいものに感じる方も多いかと思います。

この雑誌はそんな方にも美術館を訪れるきっかけになってもらえるような、作品やミュージアムショップで買えるものをピックアップしたので、ぜひお気に入りを見つけて訪れてもらえると嬉しいです。

作品作りでは、編集の際にしっかりとグリットを引いて、全体のバランスを見ながらレイアウトするように注意しました。

他にもフォントや色を使いすぎないようにしたり、同じイラストレーターさんのフリーイラストを使用したりして全体に統一感を出しました。

ゼミ活動では、IllustratorやPhotoshop、In Designなどさまざまなソフトに触れてきました。これまで学んできたことを活かして、より書店に売っている雑誌のような作品になるよう、細部までこだわりました。ちょっとしたこだわりにも気づいていただけると嬉しいです。



STILL ALIVE

Clip

2023
卒業制作特別号

